

# 株式会社岡部マイカ工業所（福岡県）

～特許の取得は国内外での競争に勝っていくのが主目的～

## 1. 国内シェア55%を誇る

“マイカ”といっても、一般の人にはあまり聞き慣れない言葉かもしれない。しかし、実は毎日のように使っている電子レンジやトースター、ポット、ヘアドライヤーなどといった家電製品から重電機まで電気を利用するさまざまな機器の耐熱電気絶縁材料として欠かせない部品、雲母のことである。(株)岡部マイカ工業所はこのマイカ製品の専門メーカーで国内シェア55%を誇る最大手である。

安川電機製作所(現(株)安川電機)を退職した先代の故岡部久米蔵社長が、(株)安川電機(株)の故安川第五郎元社長のすすめもあって1932(昭和7)年に創業。7人の女子工員を雇い、マイカを薄くはいて接着剤ではり合わせる、はがしマイカ製品の生産を開始した。当初はモーターなど重電機向けが中心だったが、家庭電化製品の普及に伴い、用途を家電分野に広げて事業を伸ばしていった。

## 2. 高品質、低価格、短納期を実現

同社は電気絶縁性や耐熱性のほか、耐水・耐薬品性、コストパフォーマンスに優れている。製品は多種多様だが、大きく分けるとはがしマイカのほか、マイカを特殊な方法で粉碎し板や紙状に成形する集成マイカがある。集成マイカは厚さや特性の均一性、優れた加工性を持ち、用途は多い。

同社はいち早く主力の宮田工場(福岡県宮田町)にこのラインを導入するなど、工場の自動化を進めた。高レベルの技術を駆使して開発した製品を効率生産する一方で、販売は創業以来、商社を経由しない直接販売方式を採用。原料のマイカもインドを中心にスリランカ、マダガスカルから直接調達する。こうして強い経営体質を確立し、高品質・低価格・短納期を実現している。主力製品は電熱用マイカ板。アスベストの使用禁止で需要が急伸し、国内外の大手電機、電子メーカーに広く使用されている。

## 3. 高い技術力

同社は技術力に定評のある技術開発型企业といえる。創業以来、新製品開発には積極的で、業界をリードする製品も数多く誕生させている。近年では、マイカペーパー振動板。世界で初めて高級スピーカー用に開発した。耐熱性が高く、耐湿性などにも優れ、NHK技術研究所でその優秀性が高く評価された。国内をはじめアメリカ、イギリス、ドイツでも特許も取得した。本格販売に乗り出し、大手音響メーカーへの売り込みにも成功している。

主力の電熱用マイカ板は、燃えないベニヤ板のようなもので、耐熱性に優れているとして世界で初めてUL(アンダーライターラボラトリー)サーマルインデックス746Bの認定を受けている。また、耐火テープは一種の燃えない絶縁テープで、消防庁認定の840度Cで30分間電気が流れなければならない耐火電線の耐火層として開発した。放熱絶縁シートはパワートランジスタの放熱絶縁や電磁シールドなどに使われるもので、業界では同社しか生産していない製品である。

特許は、これら新製品の開発に合わせ、他社にマネをされやすいものを中心に取得に力を入れている。このため社内に担当者2人を置いているほか、弁理士らも活用している。その理由は、特許を取得することによって、他社の類似製品の参入を防ぎ独占的な地位を築き、国内外の競争に打ち勝つためである。

#### 4. 共同開発にも積極的

技術開発を担当するのは品質技術部。社員20人を配置、自社内だけでなく、最近は大手电機メーカーなどとの共同開発にも積極的である。開発促進の一環として報奨金制度も早くから設けている。

#### 【特許活用製品】



マイカ成型加工品・マイカ打抜加工品



耐火テープ・耐火粘着テープ

#### ●会社概要

代表者：代表取締役社長 岡部弥太郎  
所在地：福岡県中間市中間1 - 8 - 7  
創 業：1932（昭和7）年  
資本金：1億円  
従業員：290人  
主要製品：電気絶縁用の各種マイカ製品